

ささぐり

議会だより
No. 174

北勢門幼稚園
クリスマス会



平成24年12月議会号

携帯基地局条例の廃止	2
立体駐車場でSUGOCA ^{スゴカ} が使えます	3
三浦町長3選なる	4
ここをどうする!?(7人が一般質問)	6

携帯電話基地局の設置条例を廃止

山間地域の円滑な 通信環境整備へ

発議

この条例は平成18年

12月の定例会において、議員発議により携帯電話中継基地局の設置などの管理運営を定め、町民の良好な生活環境の実現に資することを目的に制定されたものです。

しかし、制定から6年が経過した現在、現行条例では携帯電話中継基地局の設置が進まず、本町だけが携帯電話等の使用が困難な地域になる恐れが生じてまいりました。

山間地域の一部では、事故などの非常時に連絡手段が無く、当

地域の行政区長から携帯電話中継基地局の設置を求める陳情書の提出が早くからなされておりました。

本町から通信事業者3社に寄せられた通信・通話不良の苦情は、年間数十件に及んでいるそう、今後、街部においても良好な通信環境が阻害され、携帯電話の使用に支障をきたす恐れがあります。

また、昨年10月17日宮崎県延岡市の住民が、通信事業社を相手に基地局の運転停止を

求めた訴訟の判決では、「電磁波による健康被害が証明されたと認められない」として、原告の請求が棄却されています。

これらの現状を勘案し、議会において条例の「見直し」か「廃止」かの検討を慎重に行ってきた。

今後、携帯電話の円滑な使用環境の整備と、町民の良好な生活環境のために、執行部において本条例に代わる指導要綱を早急に制定されることを要望し、廃止を行ったものです。

住民の皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。



福岡県市町村災害共済基金組合の解散及び財産処分

福岡県介護保険広域連合議会議員に三浦正氏を再任

現議員が任期満了となったため、篠栗町では新議員の選挙を指名推選で選任しました。

県内市町村が災害に関する費用に充てるため、互助共済の方式によって積立金に関する事務を共同処理していましたが、近年、国の災害に対する財政支援措置が充実されたため、当該組合を解散するものです。

解散に伴い、還付金として5億6493万円が篠栗町に帰属されます。

議会用語

※ 指名推選とは

地方公共団体の議会において、選挙を行う際、議員に異議がないときに特定の候補者をあらかじめ指定して会議に諮り、全員の同意によってその者を当選人とする方法。

スゴカ 立体駐車場でSUGOCAが使えます

12月議会では、専決処分の承認1件、条例の制定・改正8件(うち1件は議案撤回後、追加提案)、組合解散など3件、補正予算2件が町長から上程され、全員賛成で承認・可決されました。

また、選挙案1件と議員発議3件がありました。議案等に対する賛否一覧を5ページに掲載しています。

立体駐車場の清算方法を改正



(JR九州提供)

この条例は、立体駐車場の清算方法を見直し、非接触型ICカードを導入し利用者の利便性の向上を図るもので、全員賛成で可決し、平成25年4月1日から施行されます。

使用料の見直しとして3時間以内無料を廃止し、100円を徴収する議案が提案されました。総務建設委員会としては住民目線での議論の結果、「料金改定は時期尚早」との判

断から、執行部がその議案を撤回し、議案第61号として追加提案したものです。

これにより、これまでのプリペイドカードに加え、JR九州のSUGOCAまたは、SUGOCAと相互利用が可能な非接触型ICカード(Suica、nimoca、はやかけん、等)で清算ができるようになります。

補正予算

一般会計補正予算はP4の表1および表2のとおりです。

※継続費では、萩尾地区と大分県の上津江町有林を対象とした町有林保全事業を平成25年度から5年間総額9852万円設定されています。(P4表3)

また、公共下水道特別会計の補正は、福岡県から返還される流域下水道維持管理負担金のうち、1億3390万3千円を、下水道事業基金へ積み立てるものなどです。

衆院選にかかる経費を専決処分

昨年12月16日の衆議院議員総選挙に伴い、迅速に対応するため委託金768万円の専決処分を12月10日に町長が行いました。財源はすべて県費です。

議会用語

※ 継続費とは

大規模な建設事業などで事業の実施が2会計年度(2ヵ年)以上に渡ることが確実な場合に、全体の事業費と各年度ごとの事業費をあらかじめ一括して予算計上し、議会の議決を得たもの。



(表1) 歳出の主なもの

(万円未満四捨五入)

減債基金・公共施設等整備基金 (福岡県市町村災害共済基金組合解散に伴う還付金を基金へ積立て)	5億6493万円
後期高齢者医療療養給付費負担金	1006万円
立体駐車場料金精算機器リース料 (ICカード導入)	30万円
一の瀧線工事請負費 (工事内容の一部変更)	△1200万円

(表2) 歳入の主なもの

福岡県市町村災害共済基金組合解散に伴う還付金	5億6493万円
減収補填特例交付金	426万円
土地売払収入	△2262万円

(表3) 継続費

事業名	総額	年度	年割額
町有林保全事業	9852万円	平成25年度	2108万円
		平成26年度	2685万円
		平成27年度	1616万円
		平成28年度	1633万円
		平成29年度	1811万円

各会計補正予算額

会 計	補正額	補正後予算額
一般会計	5億9887万円	109億1548万円
流域関連公共下水道事業特別会計	1億3636万円	9億9855万円

平成24年12月10日の議会開会日に、三浦正町長が本会議場で新たな政策目標を述べられました。その要約を掲載します。



三浦 正 町長

三浦町長3期目の政策

ささぐりの新しい個性の創造

3期目では、都会の雰囲気、田舎の趣を持った「ささぐりの新しい個性の創造」をめざして10項目の政策目標を掲げました。

- 子育て支援の更なる充実
- お年寄りとともに進める健康第一の福祉政策
- 環境・健康・観光の融合
- 校区ごとの地域共同体づくり
- 駅前自由通路建設で利便性向上

直し

- 都市計画マスタープランの見直し
- 環境・農業関連企業の誘致
- 荒廃森林・耕作放棄地対策
- 山間地域の住環境整備
- バイオマス政策の更なる推進

こうした政策を4年間の中で計画的に取り組んでまいります。



議決結果一覧表

〔○：賛成 ●：反対〕

	議案番号	議 案 名	村瀬 敬太郎	飯田 浩二	今長谷 武和	横山 久義	大楠 英志	草場 謙次	阿部 寛治	松田 國守	阿高 紀幸	後藤 百合子	荒牧 泰範
12月 定 例 会	47	専決処分の承認を求めることについて(専決第10号) 〔平成24年度篠栗町一般会計補正予算(第3号)について〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48	篠栗町都市公園条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49	篠栗町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に 関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50	篠栗町下水道法施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	51	篠栗町水道法施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	52	篠栗町町営住宅管理条例の全部を改正する条例の制定につ いて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	53	篠栗町防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	54	篠栗町災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定につ いて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55	篠栗町自動車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を 改正する条例の制定について	議案の撤回(議案第61号として追加提案)										
	56	福岡県市町村災害共済基金組合同規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57	福岡県市町村災害共済基金組合の解散について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58	福岡県市町村災害共済基金組合の解散に伴う財産処分につ いて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	59	平成24年度篠栗町一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60	平成24年度篠栗町流域関連公共下水道事業特別会計補正 予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61	篠栗町自動車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を 改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	選挙案 第2号	福岡県介護保険広域連合議会議員の選挙について	議長の指名推選により、三浦正氏を選出。										
	発議 第2号	篠栗町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定につ いて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議 第3号	篠栗町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議 第4号	篠栗町携帯電話中継基地局の設置に関する条例を廃止する 条例の制定について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●

永平寺町議会を視察
議会運営委員会研修報告

○期日

平成24年9月27日(木)

～28日(金)

○研修事項

①議会改革について

②議会基本条例について

③議会運営について

永平寺町議会は、議会改革を進め、平成23年度全国町村議会表彰を受賞されています。

「開かれた議会」「行革する議会」「提案する議会」を3本柱に掲げ、町民の代弁者として議員が活動されています。

見える議会のためにCATV(ケーブルテレビ)が導入され所帯数80%に放映されています。

研修では活発な質疑応答が繰り返され、大変勉強になる研修でありました。

する!?

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

自由通路の早期実現を願う

町長「できるだけ早期に実現したい」



荒牧 泰範

問

議員就任からこれまで、篠栗駅周辺の再開発・線路による南北分断解消を訴え続けてきました。

膨大な費用が必要なために実現に至らず、なかなか厳しい道程と想っております。

町長選挙期間中に後援会が発行された討議資料に、自由通路の構想が記載されておりました。

現在、どのような構想をお持ちで、どの時点での実現を目指しておりますのかお尋ねします。

加えて、将来的に車道と線路を立体交差させる時の事も考え、クリエイト篠栗前に用地を町が取得されております。車道と自由通路が整合性のあるものとなる事が望ましいと思いますがいかがでしょうか。

答【町長】

この構想は現在駅西側にある跨線橋が老朽化し、これに代わる物を駅東側に設置するものです。

イメージとしては幅員を4m以上とし南北にエレベーターを備えクリエイトや立体駐車場と接続し、駅北側から駅舎・役場に行きやすい歩行者専用道路を考えています。

これまでの取組みとは異なり駅とは切り離しての建設ですので、なるべく早期に実現したいと考えております。

超小型車導入の考えは

ご指摘のクリエイト前の車道の立体交差は今回の構想の中には含まれておりません。

町長「今後の研究課題とします」

問

国土交通省は超小型車の認定制度を平成25年1月から導入すると発表しました。

高齢化時代に突入し、近場を移動する高齢者の使用も考えられます。狭い道路事情も考え、ぜひ申請をしていただきたいと思っています。

そして、何より「観光の町・ささぐり」をうたい文句にしている我が町としては、いち早く購入しセラピー基地間の移動や、観光ナ

ビを搭載して来町者への貸し出しなど、集客の1アイテムに加えるべきと思いますがいかがでしょうか。

答【町長】

地方運輸局の認定を受ければ特定の地域で超小型車の走行が可能となりますが、道路環境整備や速度が遅いため渋滞、想定外の事故の恐れ等、安全確保が課題となります。

本町にとって有用な施策となるか考慮し今後の研究課題と致します。

12月12日、7人の議員が一般質問をしました。

ここをどう



阿高 紀幸

クリーンパーク道路の遅延検証・施設延長の協議は

町長「10年延長を念頭に考えます」

問

この改良工事の遅延の要因は、元町長が地元出身でありながら、任期中、一度も説明会を開かず、反対地権者への説得にも行かなかったことで、初期交渉が遅れたことが要因だと思いますが。

答【町長】

S字カーブの解消や歩道・道路計画を、地権者の方々に理解していただくために時間がかかったと考えています。

問

元町長と引継ぎはあったのですか。

答【町長】

元町長から引継ぎはありません。

担当課から継続中の事業として報告を受けましたが、どの事業が最優先課題で、実現にむけた障害がどの程度か、協議を通して探っていくことは、かなり骨のある仕事でした。

問

某議員が6月議会の一般質問で、施設の継続はないと断言してありましたが、志免町との協定書と矛盾しているのではないですか。

答【町長】

協定書によりますと、この施設を継続する場合は協議するとなって

おり、10年延長を念頭に地元との協議もしつかり行います。

繰上償還は基金の取崩しなしで償還できるか

町長「収支バランスを考慮」

問

三浦町長が就任された当時、借金が約130億円以上あったのが現在約99億8千万円まで減った現実は直視するべきであります。

理論償還は15年間で済みます。借金返済を30年間に延ばしています。次の世代に負の遺産を残すべきではありません。

『財政が他の町より健全である』との思い込みはするものではありません。基金の取り崩し、繰上償還、借換え、

3年間返済猶予措置などで健全財政数値は大きく変わります。

交付税算入額も、平成29年度以降は現在と比べ大幅に減ります。下水道会計などを含めると、基金を取り崩さずに繰上償還ができませんか。

答【町長】

この7年間、行政改革や経費節減に努め、やっと借金が100億円を切りましたが下水道会計を含めると170億円になります。

現行の行政サービス維持し、優先事業の選択など収支バランスを考慮の上、減債基金を取り崩し、繰上償還をしていきたいと考えます。

4年間の施策の中で歳入増加の取り組みと財政状況の維持を図っていきます。

民有地の工事における近隣住環境の確保は

町長「住環境保全と違法開発防止に努める」



村瀬 敬太郎

問

中町区栗木谷の民有地で、防災工事という名目で工事が行われています。工事が始まってから2年になります。この1年は工事が止まっており、急傾斜の斜面は浸食が進み、無数の溝ができ、とても防災工事とは言い難い状況です。

業者の説明では、「草の種を蒔き、土砂の流出が起きないようにする」との事でしたが、行われた様子はありません。

雨が降り出せば泥水

が流れ、下を流れる水路への土砂流入も懸念され、大雨の時には住宅への浸水も考えられます。梅雨の時期ともなれば、近隣住民の不安は増大します。

民有地の事でもあり、

行政としては手が出しにくい面もあるかとは思いますが、工事による実害も出ております。

近隣の住環境の悪化、住民の不安を考えれば、何等かの対応が必要ではないかと思われ、いかがでしょうか。

また今後、都市計画

区域内の農地が宅地化される際に、近隣の住環境の悪化防止、並びに、住民に不安を与えないような方策が必要ではないでしょうか。

町長のご所見を伺います。

答【町長】

中町区栗木谷の防災

工事は、質問の通り民有地のことで、指導も大変難しい状況ですが、当初より施工業者と住民の方々との間に入り、安全な住環境を保つべく指導を行ってまいりました。

今年、更なる防災工事計画の報告を業者より受けていますが、業者と一部住民との間で補償問題が起きており、これが解決しなければ工事に着手できない」と聞いています。今後も状況を注視し指導を行ってまいります。

都市計画区域内の宅地化については、農地転用の際に産業観光課と建設課が連携し、住環境保全と違法開発防止に努めます。

建築物の建設では、一部の建築確認が、第三者機関に申請される事もあります。事前協議により住環境の保

護に努めております。今後この体制を崩さず住環境保全と違法開発防止に努めます。

要望

水路に土砂流入が認められます。定期的に巡回され、保守点検や業者への指導をする等の対応を要望します。



中町区栗木谷の民有地



飯田 浩二

図書館の管理・運営についての提案

教育長「実現に向け検討する」

問 図書館の休館日と休日等との関係について、

糟屋郡内、各町図書館の運営状況を比較すると、篠栗町は祝日を休館日としており、祝日が土曜日又は日曜日の場合でも休館日となっています。

特に5月のゴールデンウィークは休館日が続きます。そのため年間10日以上他町より開館日が少なく、住民サービスの充実に至っていない状況にあると思われます。早急に取り組むべき課題だと思います。

すいかがでしょうか。

答【教育長】

これからの図書館運営として、住民サービスの向上に一層努め、今後より多くの町民の皆様にご利用いただき、篠栗町における文化の発信施設となるよう運営していきたいと思っています。

その実現に向けて、図書館の管理運営に関わる職員の勤務体制、人件費、運営規則等の見直しについて検討します。

問

『雑誌スポンサー制度』これは企業や団体に雑誌を購入してもらう代わりに、ブックカバーの表面に広告を掲載するシステムです。

篠栗町におきましても、年間の新刊補充予算額が1000万円弱

となっております。その中で一部の週刊・月刊雑誌等を地元企業や団体に贈ってもらえれば、町財政を圧迫することなく図書館運営を充実させることが出来るのではないのでしょうか。

答【教育長】

『雑誌スポンサー制度』につきましては、新たな図書館サービスのあり方として注目されるシステムだと思っております。

先進の図書館を参考にし、新刊雑誌の充実と財源確保に向け、新たな図書館の管理運営を研究しながら、システムの構築に向けて検討します。

問

平成23年度までに福岡県では、近隣の久山町など15の市町村が指

定管理者制度を導入しています。

図書館協議会においても指定管理者制度導入について、すでに検討されたとは思いますが、どの位の頻度でどのような内容でしょうか。

答【教育長】

指定管理については、今まで検討した経緯はございません。

今後、図書館協議会の中で積極的に意見を投げかけ検討します。



町立図書館

私有林の不法投棄ゴミも町で撤去しては

町長「実効性のある方法を検討します」



横山 久義

問

不法投棄ゴミの処理

町職員・町営林看守人・福岡森林管理署・福岡農林事務所等が各々の管轄する山林のパトロールを実施しています。一般の方からの通報には、その実態の把握に努めております。

答【町長】

町職員・町営林看守人・福岡森林管理署・福岡農林事務所等が各々の管轄する山林のパトロールを実施しています。一般の方からの通報には、その実態の把握に努めております。

問

ゴミの不法投棄の実態及び実態把握の具体的方法について教えてください。

方法を、国・県・町有林及び私有林ごとに説明して下さい。

現実問題として、私有林所有者に「お宅の山にゴミがあります。撤去して下さい」と言っても簡単にはいかないと思います。そこは割り切って町が対応を検討する考えがないかお尋ねします。

答【町長】

不法投棄ゴミは、投棄した人に処理してもらうのが当然ですが、投棄した人が不明な場合は、その土地の管理者に処理して頂くことになります。

私有林での撤去は、実効性のある方法で、議員からお話があったことも含め検討したいと思っております。

放置された産業廃棄物の量は

町長「建物内部に1万100㎡、外部に3500㎡」

問

クリーンパークと町道に挟まれた場所に放置されたままの大量の産業廃棄物に関してお尋ねします。

放置された時期はいつですか。

答【町長】

平成21年から放置された状態です。

問

廃棄物の撤去を所有者にどのよう求めたのか説明願います。

答【町長】

県は、法的に責任を有するものへの責任追

及など、あらゆる手法を検討しております。

問

廃棄物の数量などの説明を求めます。

答【町長】

廃棄物の種類は、がれき類、廃プラスチック類、木くずなどの建設廃棄物で、建物内部に約1万100㎡、外部に約3500㎡が放置されています。

問

今は建物で覆われていますが、台風などで崩壊するのにも時間の問題です。

又、いつ放火されても不思議ではありません。防災上からも早急な対応が求められています。施設組合で



放置されている産業廃棄物

処理する等政治的判断をする時期に来ていると思います。今後どのように対応されるのですか。

答【町長】

県の見解によれば、廃棄物には有害物質が含まれていないと判断しています。しかし、現状は目視できない部分もありますので、県に対し調査等の対応をお願いしています。

町長選挙を問う

町長「使命と責任の大きさを
厳粛に受け止めている」



松田 國守

【問】

この度の町長選挙は、無投票再選となると目されていました。告示直前に対立候補者が現れ、急遽選挙戦が繰り広げられたことは周知のとおりであります。結果は大差で現職が当選を果たされましたが、投票率は過去最低の40・66%でした。選挙戦に突入してから、ちまたでは現職が勝利することは火を見るより明らかだと噂されていたと聴きます。こうしたことで、自分が投票しないでも大

局に影響なしと考える有権者が多かったのではないかと推察します。もともと告示直前の立候補のため、その候補者の人物像・人格・政策能力・政治手腕などが不明確のまま投票日を迎えた感があり無理もない話だとは思いますが、投票は有権者の最たる権利であり、義務でもあり責任もあります。一方、立候補者も住民に的確な判断を仰ぐ責務があります。そこで町長にお尋ねします。冒頭に述べたように非常に低い投票率でしたが、圧倒的大差での勝利は住民の期待が絶大であることに他なりません。そうした町民の期待をどのように受け止めてあるか簡潔にお答えください。

【答】

町長 今回の町長選挙は、投票率が40・66%と町の行政運営のかじ取り役を選ぶ町長選挙といたしましては、残念な結果でありました。しかしながら私は選挙を通じて、町政にかける思いを町民の皆様にしつかりとお伝えして参りました。その結果、引き続き3期目の町政運営を担わせて頂くことになったと考えております。3期目に課せられた使命と責任の大きさを厳粛に受けとめております。町民の信託に応えるため、新しい公共の実現をまちづくりの基本理念として、持続可能な篠栗町の個性を創造するとともに、篠栗町の魅力を次の世代に引き継ぐことのできるように、町政運営に全力

を尽くす決意であります。

これまで以上に町職員とともに全力を挙げ取り組んでまいります。

ですので、町民や議会員の皆様の一層のご支援とご協力を心からお願いいたします。



緑豊かな篠栗町

山間地域の住環境整備を問う

町長「25年度予算に反映します」



大楠 英志

問

「篠栗の新しい個性の創造」博多駅・福岡空港から20分と交通の便利のよさと、三方を山々に囲まれた豊かな自然環境、素晴らしい環境を生かした政策で新しい個性を創造します。これは町長選挙での三浦町長のコンセプトです。政策の中から「山間地域の住環境整備」について尋ねます。

萩尾・城戸・山手・山王・若杉（本村）の篠栗町に占める人口は1073人（3.39%）、世帯数は401世帯

（3.25%）ですが面積は22km²（56.5%）と半分以上です。

山間地域では、

○上水道が整備されていない

○公共下水道の未整備区域である

○光ファイバーなどの整備が遅れている

こうした山間地域の住環境整備が急がれます。と述べてあります。

山間地域の問題に正面から政策として取り組んでいただくことに、地域のかたは大変喜んであります。

どれも重要な課題ですが、とりわけ生活に欠かせない飲み水の安定供給が急がれると考えます。

ぜひ町長の構想を聞きたい、地域の現状も知っていただきたいとの要望もございました。これに添えていただきたいと存じます。

答【町長】

山間地域の住環境整備は3期目の重点施策と考えています。これまで荒廃森林事業や林道建設をおして、森林環境改善策を行ないました。

現在は我慢しても、次の世代が里を降りるようなことを始めたら、過疎化が進み荒廃した山々が残る状況になりかねません。

豊かな森林に抱かれた本町の観光資源の恩恵を享受できるのは、山間地域に生活されてきた方々の地域に対する愛着があったからです。

生活用水の安定供給については、山間部の給水区域外での世帯対象調査では、41世帯が水量不足、5世帯が水質の悪化により生活用水の確保に苦労、この結果が出ています。

今後他の自治体のような一定の地域ごとの給水施設の整備をし、費用の一部をご負担いただくなど、先進自治体の施策を考えていきます。

地域の実情を直接聞いて25年度予算に反映するように進めます。

駅前自由通路建設について

町長「計画が完了したら知らせます」



山間地域

輝く まちの宝！



庄区
子ども会



北勢門
幼稚園



自宅にて10月22日撮影

「かわいくてしょうがないの」

私の娘が赤ちゃんをだっこしています。赤ちゃんは姉の子供ですが本当の弟のようにかわいがっています。かわいくてしょうがないようで泣き出してもなかなか放しません。

(阿部 差世様からの投稿)



栗の子
保育園



あなたの写真を議会だより に載せてみませんか？

採用された方には、粗品を進呈します。

応募要領

- テーマ 今年度はこども中心の写真です。
- 応募方法
 - ① 作品はすべてプリントしたもの。(カラーのみ)
 - ② サイズ/A4、六切、四切
 - ③ 撮影場所、日付、写真説明(タイトル含む)、住所、氏名、電話番号を明記。
- 応募上の注意
 - ① 作品は自作・未発表のものに限ります。
 - ② 作品は原則として返却しません。
 - ③ 人物の場合、必ず本人の同意を得てください。当発行者は肖像権等の責任は負いかねます。
 - ④ 採用された作品の著作権は、発行者に帰属し、出版物、ホームページなどで使用します。
- 送付先
 篠栗町議会まで郵送ください。
(問い合わせ先は、役場3F 議会事務局まで)

心を磨く

—2時間のトイレ掃除—

昨年12月19日（水）、萩尾分校の子どもたちが、授業の一環として、福岡便教会の方々と一緒にトイレ掃除を行いました。
当日は、子どもたちがおよそ2時間、モクモクとトイレ掃除を行いました。
嫌だけど我慢してトイレを磨くことで、普段何気なく使うもののへの感謝の心が生まれます。



同じトイレ掃除でも徹底することで、感動する心が芽生えます。
小さなことに感謝・感動できる心を育て、それを磨き続けることが、子どもだけでなく、大人にも必要ではないでしょうか。
掃除をしている子どもたちの表情は、キラキラと輝いていました。



旬花衆灯



友へ

「幸せな人生」とは、辛いことや苦しいことを乗り越える力を湧現する努力、その連続の生き方だと思っています。大事（偉大な仕事）を成す人ほど、大変な苦労と闘っていると感じます。希望を捨てなければ、必ず幸せを掴むことができるんだと。

「冬は必ず春となる」辛くてもあきらめずにいれば、絶対に暖かい日差しに包まれる日が必ず来る、と確信し頑張っていきたい。いま校は厳しい寒さに耐え、満開の花を咲かせようと、春の到来を今かいまかと待っています。

後藤 百合子

3月議会は

3/7木 開会

3/11月 一般質問

の予定です

発行責任者 議長 今泉 正敏

議会広報編集特別委員会 委員長 後藤百合子／副委員長 飯田浩二
委員 松田國守・大楠英志・今長谷武和・村瀬敬太郎

平成25年2月1日発行

発行／篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗4855-5 TEL092-947-1111 FAX092-947-1442 印刷／株式会社三光